

教 科	国 語	科 目	文学国語
履修条件 対象生徒	全員履修（2年・3年で分割履修） デザイン科 2学年		
学習目標	・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養う。 ・他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	〔授業〕 ・現代の随筆・小説などについて読解や話し合いを通じて内容の構成・論理の展開・登場人物の心情を的確に把握する。 ・情報を相互に関連付けながら、内容を解釈し、自分の考えを深める。 ・目的や場に応じた話題を設定し、自分の考えをまとめ、的確に相手に伝わるように表現する。 〔家庭学習〕 ・ワークシートを手がかりに事前に学習内容に触れたり学んだことについて確認したりする。 〔その他〕 ・検定勉強の補助や基礎的基本的事項の確認を行う。 ・漢字テストと関連付けた語彙習得学習を通じて、基礎的な漢字力を身に付ける。		
学習計画 と ねらい	<1学期末考査まで> 明日をひらく そとみとなかみ 書く 言葉でスケッチ 小説を楽しむ（一） 晴れた空の下で 古典の世界1 『沙石集』児の飴食ひたること <2学期末考査まで> 詩を味わう 小景異情 永訣の朝 名作を読む 山月記 古典の世界2 『竹取物語』かぐや姫の昇天 『伊勢物語』月やあらぬ <学年末考査まで> 社会に生きる 神去りなあなあ日常 鞆 表現を味わう 身内ほど厄介な者はいない 柿 古典の世界3 『枕草子』はしたなきもの ○筆者の思考方法を学び、自らの視野を拡大する。 ○写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ○場面の設定を通して登場人物の心情や情景描写の効果を考えながら読む。 ○話のおもしろさと教訓をとらえる。 ○近代詩・現代詩の表現技法・鑑賞のしかたを学び、創作体験をする。 ○漢文訓読調の文章の魅力を味わい、作品を通して自己理解を深める契機とする。 ○我が国の言語文化について理解を深める。 ○仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ○この話に込められた寓意を読み取り考えを深める。 ○多様な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。 ○三大随筆の一つを読み、自分のものの見方や考え方と比べながら味わう。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	・想像や心情を豊かにする言葉の働きを理解している。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。
評価方法	○評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的な評価を行う。 ○定期考査は、知識・理解を偏重することなく、3つの観点で評価できるよう作問を工夫する。 ○定期考査だけでなく、年間を通じて発表、作文、課題など、生徒の主体的な活動も重視する。またそれらの表現領域においては、テーマの設定から発表にいたる学習過程の全体を評価の対象とする。		